

私の治療カルテ

—大腸連携パス—

(術後フォローアップ)



あなたのお名前

さん

かかりつけ医

(電話 — —)

独立行政法人国立病院機構

大阪医療センター 外科

電話 06-6942-1331 (代表)



はじめに

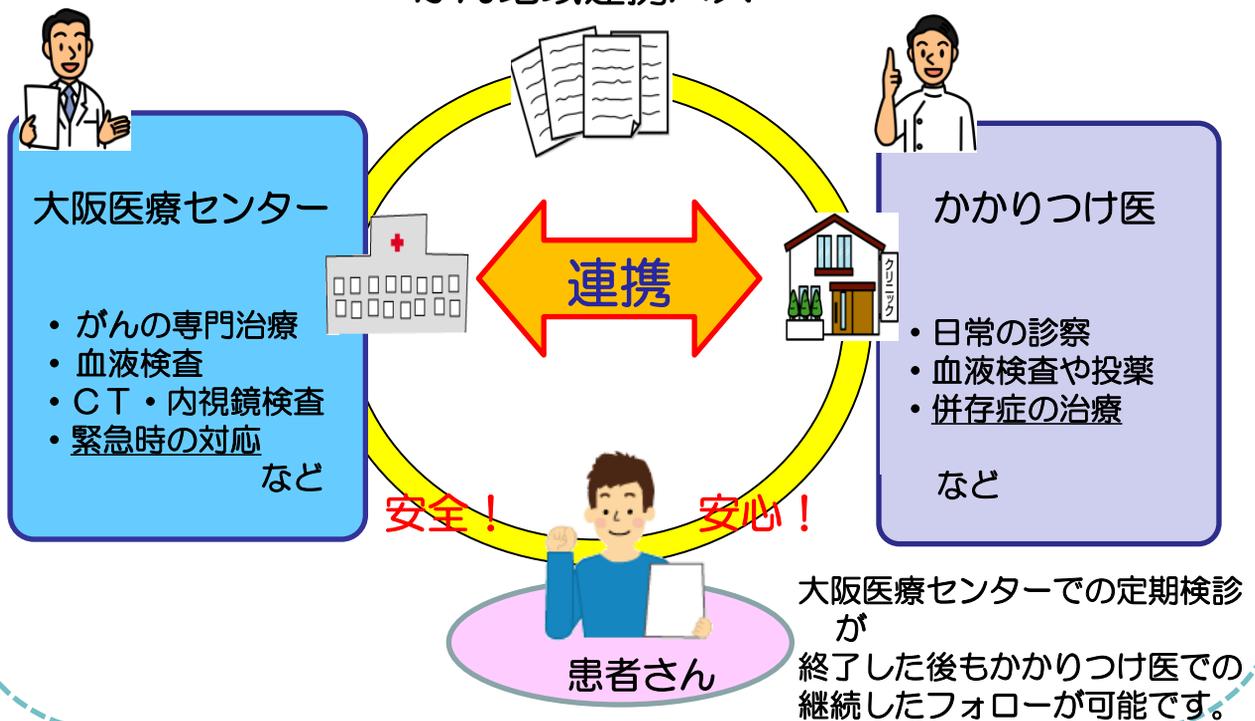
『がん地域連携パス』とは、手術などの治療後に、大阪医療センターの主治医と地域のかかりつけ医（診療所）が、あなたの治療経過を共有するための「治療計画書」のことをいいます。

この治療計画書『がん地域連携パス』に沿って、二人の主治医の先生が、あなたの治療経過をサポートします。

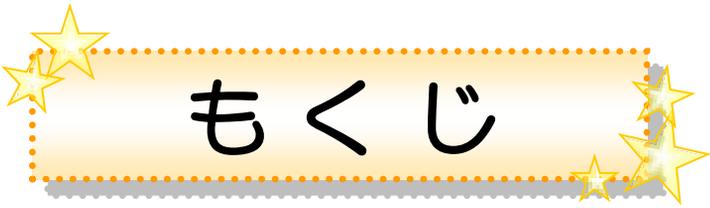
病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は大阪医療センターが行います。

【病院とかかりつけ医の役割】

がん地域連携パス



- メリット
- ① 通院の負担（外来待ち時間や長い通院距離）を軽くします
 - ② 併存症の治療も、情報を共有することで安全に受けることができます
 - ③ 緊急時は〇〇病院に紹介され、診療を受けることができるため安心です



もくじ

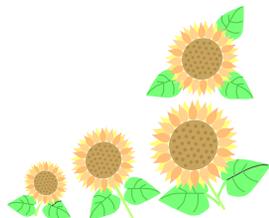
 退院後の日常生活 : p.3

 退院後の食生活 : p.4

 術後の治療計画 : p.5

 症状チェック表 : p. 6～ p.7

 大阪医療センター 相談窓口のご案内 : p.8 ～ p.9



退院後の日常生活

🔔 手術後におこりやすい症状について

大腸を切り取ったために栄養吸収や食事摂取量の低下，それらに伴う体重減少などのトラブルはほとんどありません。しかし、多くの場合術後1～2ヶ月でやや軟便の状態となることが多いですが、ときに便秘気味になる場合があります。

一方、直腸を切除した場合には、便をためる能力と便を押し出す能力が低下するため、排便の回数が増加したり、1回の便量が減少したり、残便感などの排便機能障害をきたします。

また、小腸や大腸の癒着（ゆちゃく）により、内容物の通過不良が生じ、腹部の膨満を感じたり、あるいはひどくなると腸閉塞（ちょうへいそく）となる場合があります。

これらの症状は、多くの場合食事療法や下剤や消化薬でコントロールすることができ、術後一定の期間がすぎると生じにくくなります。

🔔 社会復帰に向けて

社会復帰が可能となる時期は、年齢や体力、社会的状況、仕事内容、手術術式などにより異なりますので、個々の状況に応じて対応すべきです。ひとつの目安としては、退院後の仕事内容が主にデスクワークであれば術後1ヶ月程度で、腹筋をよく使う運動や仕事であれば術後2～3ヶ月くらいを目処に社会復帰が可能と考えます。



退院後の食生活



🔔 食生活に注意して

原則的には、食事の種類に制限はありません。つまり、何を食べてもかまいませんが、術後3ヶ月間は、食物繊維が多く含まれているものや消化しにくいものは、腸閉塞の原因となることがありますので、控えたほうがよいでしょう。

最も基本的なことは、おいしく、ゆっくり、楽しく、食べることです。次のことに留意して、規則正しく、バランスの良い食事を心がけましょう。また、ほどほどならアルコールを飲むことも可能です。



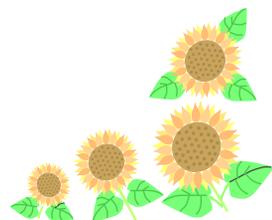
🔔 注意した方がよいおなかの症状について

便秘に対しては、水分を多くとるようにし、生活のリズムを整え、適度な運動を行い、規則正しい食事と排便の習慣をつけましょう。食事・生活習慣に注意しても便秘が続く場合、下剤が必要となりますので、担当医に相談しましょう。

下痢の場合は、消化の良い食品をとり、水分を制限せず、むしろ補いましょう。少量ずつの食事を、回数を増やすことで、消化管の負担を軽くしましょう。

頻便の場合は、生活のリズムを整え、食事時間を規則正しくしましょう。過労は禁物です。

腹部膨満感に対しては、1回の食事量を控えるように心がけましょう。それでも治らなければ、一度、食事をやめましょう。食事をやめても腹部膨満が続き、排ガスのない場合は腸閉塞が疑われます。担当医にすぐに相談しましょう。



術後の治療計画

○・・・実施予定です。

	連携医	病院	連携医	病院	連携医	病院	連携医	病院
		半年		1年		1年半		2年
	/	/	/	/	/	/	/	/
問診触診	○	○	○	○	○	○	○	○
血液検査	○	○	○	○	○	○	○	○
CT検査		○		○		○		○
大腸内視鏡				○				

	連携医	病院	連携医	病院	連携医 または 病院	病院	連携医 または 病院	病院
		2年半		3年		4年		5年
	/	/	/	/	/	/	/	/
問診触診	○	○	○	○	○	○	○	○
血液検査	○	○	○	○	○	○	○	○
CT検査		○		○		○		○
大腸内視鏡				○				

※状態に合わせて検査を追加することがあります。

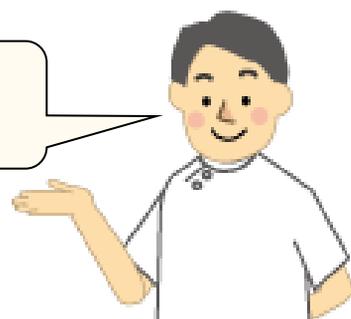
症状チェック表

受診前に自覚症状のチェックを行い、この表に記入しましょう。

	連携医	病院	連携医	病院	連携医	病院	連携医	病院
		半年		1年		1年半		2年
体重	kg							
腹部の症状	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無							
便通の異常	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無							

<メモ>

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

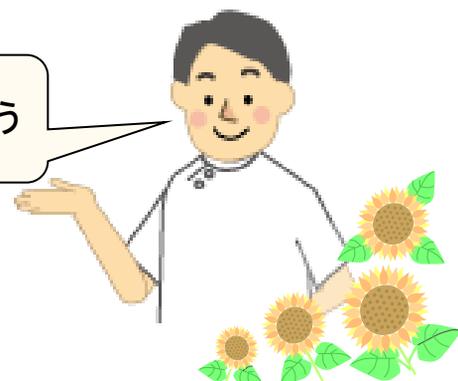


症状チェック表

	連携医	病院	連携医	病院	連携医 または 病院	病院	連携医 または 病院	病院
		2年半		3年		4年		5年
体重	kg							
腹部 症状	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無							
便通 異常	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無							

<メモ>

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 相談窓口のご案内

相談窓口

(1階：地域医療連携室)
がん相談・医療相談・看護相談 など
患者さんの相談に対応します。

患者さんが病院に対する安心感と信頼感を持って療養に専念していただけるように相談をお受けしています。

大阪医療センターに入院・通院されている患者さん・家族の方が安心して医療・看護が受けられるよう、医師または看護師など大阪医療センターのスタッフとの連携はもとより、地域の 医療・保健・福祉などの各機関と協働・連携をとりながら 支援を行っています。

窓口時間： 月～金曜日
午前10時00分 ～ 午後16時
(土・日・祝日・年末年始を除く)
電話番号：06-6942-1331(代表)



不安に振り回されそうな時...

まだまだ、不安や悩みがあると思いますが、大腸がんの治療を終えた多くの方が、本来の社会生活を取り戻しています。

不安な時や困った時は、いつでも、遠慮なく、相談窓口をご利用ください。

予約センター

予約センターでは、診察予約の変更を承ります。
なお、検査予約の変更は予約センターでは受付できませんので、
外科外来へ直接ご連絡いただいております。

電話番号：06-6946-3519（予約センター直通）

予約外受診

必要があれば、予約外診療も受け付けています。
受診の際は、診療受付までお問い合わせください。

夜間・休日などの対応

緊急を要する場合で、休日や夜間等かかりつけ医を受診
できないときは、大阪医療センターまでご連絡ください。

電話番号：06-6946-1334（代表）





独立行政法人国立病院機構
大阪医療センター
電話番号 06-6942-1331

平成29年6月